

この情報誌は、「全国ユース環境ネットワーク事務局」より、全国の約5,000高校、および全国で環境活動を推進しているユースの方々にお送りしています。

平成28年9月吉日
独立行政法人環境再生保全機構

各 位

環境情報誌「全国ユース環境ネットワーク VOL.3」送付のご案内

時下、貴校におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年・2015年、環境省と独立行政法人環境再生保全機構は、環境活動を実践している全国の高校生やユース世代が「学び」を共有するネットワークを構築し、そしてその能力開発を図るために、「全国ユース環境ネットワーク促進事業」をスタートいたしました。今年度、2年目の本事業は、より一層、高校生や大学生・ユースの環境活動を応援してまいります。また、事業の一環として、環境情報誌「全国ユース環境ネットワーク」を発行しています。このたび、2016年9月発行の「第3号(VOL.3)」が出来上がりましたのでお送りいたします。

ぜひ、高校生・ユースのみなさんにご覧いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

全国ユース環境ネットワーク事務局

<ご案内 ①> 環境情報誌「地球環境基金便り No.41」を同送いたします。地球環境基金は、NGO・NPOの環境保全活動を支援する基金です。この号(No.41)では、「注目! 高校生の環境保全活動」を特集しています。

<ご案内 ②> 環境情報誌「全国ユース環境ネットワーク vol.3」では、「第2回 全国ユース環境活動発表大会」の応募について掲載しています。たくさんの方からの発表大会へのご応募をお待ちしています。

そこで、「全国ユース環境活動発表大会」を知っていただくために、2016年2月に開催しました

「第1回 全国ユース環境活動発表大会」の出場高校の先生方から事務局に寄せられた感想をご紹介します。

【ご参加いただいた先生方からの声】(一例)

- ◇ 全国大会に参加でき、本活動を恒常的に意識して行動することができるようになりました。
現在、発表した研究を発展させた取り組みを行っております。
- ◇ これまで「全国」を冠した大会に縁のない生徒ばかりでしたので、当初は極度に緊張していましたが、大会終了後は『有意義で貴重な体験を得ることができた』と感激しております。
- ◇ 本校の活動は活動が中心であり、研究はそれ程でもないのに、他校が詳しい研究をさせていることに感銘を受け、刺激を受けていました。
- ◇ 生徒達が全国レベルの発表に刺激を受け、地域だけでなく、もう少し広い範囲に目を向け、グローバルな活動を展開していきたいと考えようになってきました。
- ◇ 他校の取り組みを拝聴し、『私たちよりも、もっともっと、頑張っている学校がたくさんあるんだなあ』との感想をもらすとともに、研究班員の誰もが『負けてはいられない!』とのモチベーションを、より一層、高めていたように思います。
- ◇ 大変刺激になったようです。卒業する3年生は「もう1年留まって活動がしたい」とまで言っていました。

※「第2回 全国ユース環境活動発表大会」の応募要領は、本誌のP2～P4をご覧ください。

問い合わせ

全国ユース
環境ネットワーク事務局

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー8階
独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金内
担当: 川上、小川、西岡、大木
Tel: 044-520-9505 Email: youth@erca.go.jp

